

### バンダイ子どもアンケートレポート Vol.218

## 「小学生の体育・スポーツに関する意識調査」結果

TOPIC①: 「体育」が全教科のなかで**人気 No.1**！男子の約半数が好きな教科を「体育」と回答。  
好きな種目のトップは、男女ともに高い支持を受け「水泳」に。

TOPIC②: 子どものスポーツ教育にかかる年間費用の平均は、**37,909円**。  
「習い事の月謝」、「スポーツ用品」、「合宿・遠征費」などの回答が多数。

TOPIC③: 子どもがスポーツを好きになるような工夫をしている親は、**半数以上**。  
経済的なサポートに加え、「褒める」などの精神的サポートや、  
「スポーツと一緒にやる」ことで親子のコミュニケーションをとる家庭も。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、10月13日の「体育の日」にあわせ、小学生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)840人を対象に、「小学生の体育・スポーツに関する意識調査」を実施しました(実査期間 2014年8月28日～31日)。調査結果を以下の通り発表いたします。

**TOPIC①: 「体育」が全教科のなかで人気 No.1！男子の約半数が好きな教科を「体育」と回答。  
好きな種目のトップは、男女ともに高い支持を受け「水泳」に。**

#### 【好きな教科】(複数回答)

男女総合TOP5			男子総合TOP5			女子総合TOP5		
1位	体育	39.5%	1位	体育	47.4%	1位	音楽	42.9%
2位	算数	38.0%	2位	算数	45.7%	2位	国語	41.7%
3位	図工	37.5%	3位	図工	33.8%	3位	図工	41.2%
4位	国語	29.3%	4位	理科 ※	24.3%	4位	体育	31.7%
5位	音楽	28.2%	5位	音楽	16.9%	5位	算数	30.2%

※理科系の生活科を含む

体育の日を迎えるにあたり、「体育」が全教科のなかでどれくらい人気があるのかを探るため「子どもの好きな教科」を聞いたところ、「体育」という回答が39.5%にのぼり全教科のなかで1位となりました。

男女別で見ると、男子では半数に迫る47.4%が「体育」と回答し1位となり、女子では1位は「音楽」となったものの、3割以上が好きな教科として「体育」と回答しており、男女ともに「体育」が好きである傾向が読み取れます。

【好きな体育の種目】（複数回答）

男女総合TOP5			男子総合TOP5			女子総合TOP5		
1位	水泳	45.1%	1位	水泳	41.7%	1位	水泳	48.6%
2位	かけっこ	33.3%	2位	サッカー	40.0%	2位	縄跳び	34.8%
3位	ドッジボール	30.4%	3位	ドッジボール	39.0%	3位	かけっこ	29.3%
4位	縄跳び	24.6%	4位	かけっこ	37.4%	4位	ドッジボール	21.7%
5位	サッカー	22.4%	5位	体操・マット運動	16.4%	5位	体操・マット運動	20.5%

子どもの好きな体育の種目について質問したところ、男女ともに 4 割以上が好きな種目として「水泳」と回答し、2 位以下に大きく差をつけ、1 位は「水泳」(45.1%)となりました。

なお、バンダイこどもアンケート「子どもの習い事に関する意識調査」(2014年3月調査)においても、小学生がしている習い事の 1 位は「水泳」となりました。習い事においては「体力作りのため」などの理由で幼少期から「水泳」を習いはじめている子どもたちが多く、小さい頃から慣れ親しんでいる「水泳」が好きな体育の種目としても人気となったことが推測されます。

参考 子どもの習い事に関する意識調査(2014年3月調査)

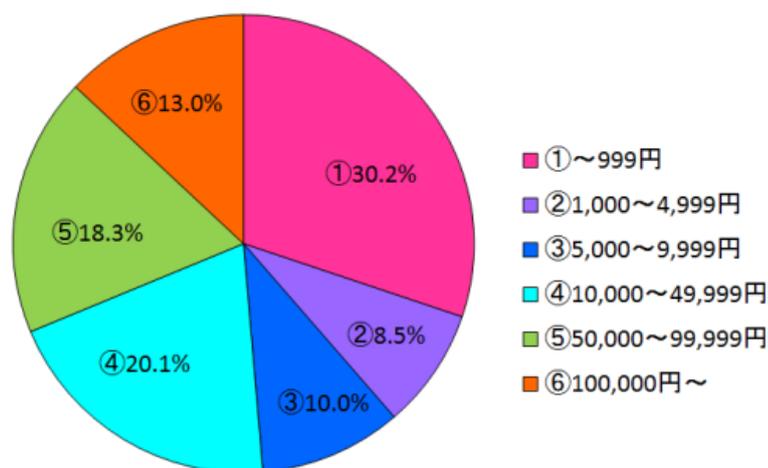
男女総合TOP5		
1位	水泳	22.0%
2位	ピアノ	20.7%
3位	学習塾	17.3%
4位	習字	13.2%
5位	英会話	12.3%

※小中学生を対象とした調査結果から小学生のデータを抜粋。

TOPIC②: 子どものスポーツ教育にける年間費用の平均は、37,909 円。

「習い事の月謝」、「スポーツ用品」、「合宿・遠征費」などの回答が多数。

【子どものスポーツ教育にける年間費用】



子どものスポーツ教育にける年間費用を親に聞いたところ、平均金額は 37,909 円となりました。金額の分布を見ると、「10,000 円以上」が全体の過半数の 51.4%にのぼりました。

かける費用の主な内容を尋ねたところ、「習い事の月謝」、「スポーツ用品」(ユニフォームや道具など)、「合宿・遠征費」などの回答が目立ち、子どものスポーツ教育のために必要なものには、しっかりお金をかけていることが読み取れます。

年間費用で高額な回答をした方の中からは、「フィギュアスケートのレッスン代」(年間費用 700,000 円/小学 4 年生女児の親)、「バレエ」(年額費用 600,000 円/小学 5 年生女児の親)「体操教室の学費」(年間費用 300,000 円/小学 3 年生男児の親)などの回答が見られました。

**TOPIC③: 子どもがスポーツを好きになるような工夫をしている親は、半数以上。  
 経済的サポートに加え、「褒める」などの精神的サポートや、  
 「スポーツと一緒にやる」ことで親子のコミュニケーションをとる家庭も。**

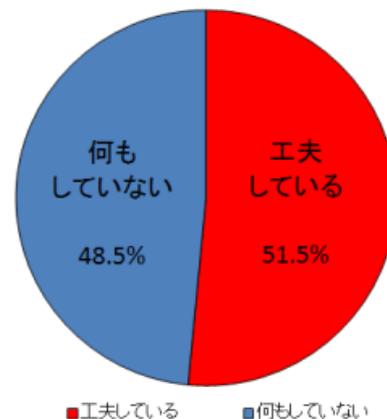
子どもがスポーツを好きになるような工夫について親に尋ねたところ、51.5%の親が、「子どもがスポーツを好きになるような工夫をしている」と回答。

具体的な内容としては、「習い事をさせている」、「必要な出費を負担する」という回答に加え、「褒める」、「一緒にやる」、「送迎のサポート」、「試合の応援」、「食事に気をつける」などの回答があり、経済的なサポートに加え、精神的なサポートやスポーツをするための環境作りをしていることが読み取れます。

また、「苦手な所は励まし、少しでも上達したら褒める」、「体育の授業でできなかったことを一緒に練習している」というコメントからは、上達することを目指して、親子でスポーツに向き合っている様子がうかがえます。

「一緒にやる」と回答した方からは、「楽しさを分かち合う」、「苦手そうだと、私がやる姿を見せる」、「ゴルフのコースを一緒にまわる」などのコメントが寄せられ、親子のコミュニケーションの一環として、スポーツを楽しんでいる様子が伝わってきました。

**【子どもがスポーツを好きになるような工夫をしているか】**



**【バンダイからのコメント】**

10月13日は「体育の日」。「スポーツの秋」ということで、全国各地でスポーツに関するイベントなどが開催されることと思います。

今回のアンケートでは、子どもたちにとって身近な「学校内での体育」と、「家庭内でのスポーツ」に対する意識を調査しました。

調査方法が異なるため単純比較はできませんが、バンダイが過去行ってきた「子どもの好きな教科」のアンケートで「体育」が1位になったのは初めてのことです(下記表を参照)。

「家庭内でのスポーツ」に関しては、スポーツを介した親子のコミュニケーションの様子をうかがえる心あたたまるコメントが多く寄せられました。

「子どもがスポーツを好きになるようにしている工夫」として、「必要な用具をそろえる」という「物から入る」方法や、「励ましながら」という「モチベーションを上げる」方法、「あきらめて投げ出した時に叱る」といった「厳しく基本を教える」方法など、親御さまも一緒に悩みながら、楽しみながら家族でスポーツに向き合っている姿が垣間見えた気がします。

2020年の東京オリンピックに向けて、さらにスポーツの話題が盛り上がるのが予想されます。今後、体育・スポーツ好きな子どもがますます増えていくのではないのでしょうか。

**参考 過去に実施した「子どもの好きな教科に関する意識調査」結果**

1位	算数・数学	33.2%
2位	体育	19.9%
3位	国語	18.7%
4位	図工	17.5%
5位	音楽	10.7%

(複数回答、6~12歳対象)

1位	算数	29.9%
2位	体育	23.4%
3位	国語	19.3%
4位	図工	15.0%
5位	音楽	11.4%

(複数回答、小学生対象)

※2005年および2010年の調査方法は本年と異なるため、単純比較はできません。

■ 調査概要

【 調査目的 】 小学生の体育・スポーツに関する意識・実態を探る

【 調査地域 】 全国

【対象者条件】 小学生の子どもを持つ親 ※子どもと一緒に回答できる方

【 調査手法 】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【 実査期間 】 2014年8月28日(木)~8月31日(日)

【サンプル数】 840人

【 構成 】

(全体)	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生
男子	70人	70人	70人	70人	70人	70人
女子	70人	70人	70人	70人	70人	70人

こどもアンケートホームページ:<http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ:<http://www.bandai.co.jp/>